

平成27年度第1回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成27年4月20日（月）13時00分～14時40分

場所：熊本県立大学大会議室

| | |
|----------------|--------|
| 出席：学長 | 古賀 実 |
| 副学長 | 津曲 隆 |
| 事務局長 | 仁木 徳子 |
| 文学部長 | 砂野 幸稔 |
| 環境共生学部長 | 堤 裕昭 |
| 総合管理学部長 | 黄 在南 |
| 地域連携・研究推進センター長 | 松添 直隆 |
| 学術情報メディアセンター長 | 半藤 英明 |
| 文学研究科長 | 鈴木 元 |
| 熊本日日新聞社新聞博物館長 | 平野 有益 |
| 元昭和女子大学大学院教授 | 渡辺 満利子 |

事務局：高山事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、花村企画調整室長、福島地域連携・研究推進センター事務長、坂本学術情報メディアセンター事務長、教務入試課築地班長、同課福永班長、

1 開会（進行：高山次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

(1) 審議事項

① 平成28年度入学者選抜の実施方針について

事務局教務入試課から資料1-1及び1-2に基づき、「平成28年度の学部の入学者選抜について、特別選抜は、昨年度と同様に「推薦入試」、「社会人入試」、「帰国子女入試」、「私費外国人留学生入試」を実施する。自己推薦型入試及び一般入試（前期・後期日程）も昨年度と同様の予定。また、環境資源学科の一般入試（後期日程）に係る個別学力検査の実施教科については、「小論文」を「理科から1科目選択」へ見直す。大学院の入試についても、昨年度と同様の予定である。平成27年度入試広報については、7月19日、26日に開催予定のオープンキャンパス等を中心に行う予定である。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、「平成29年度一般入試の実施教科・科目等については、平成28年度からの変更はない。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 授業料未納に伴う学生の除籍について

事務局総務課から、資料3に基づき、「現在の状況と教授会の審議結果を踏まえ、A及びCの学生については、休学中に未納の解消ができなければ除籍、Bの学生については本日までに納付が確認できておらず除籍やむなし。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

委員からの発言の概要は、以下のとおり。

(2) 報告事項

① 平成27年度一般入試における追加合格者決定について

事務局教務入試課から、資料4-1及び資料4-2に基づき、「前期日程で日本語日本文学科において欠員が1名、英語英米文学科において欠員が1名、食健康科学科において欠員が3名生じたため、3月28日に追加合格者決定の手続きを行い、入学定員を確保した。」との報告があった。

② 平成27年度入学者の状況について

事務局教務入試課から、資料5に基づき、「入学者の状況は、480名の定員に対して、517名の入学があり、男性の割合は36.2%と昨年度より3%程度減、県内出身者は70.2%で昨年度より10%程度減少している。学部の定員充足率は、全体で107.7%。大学院の入学状況については、全体の定員充足率は59.0%。」との報告があった。

③ 平成26年度4年生アンケート調査結果について

事務局教務入試課から、資料6に基づき、「このアンケートは、平成20年度から実施し今回が7回目。実施時期は平成26年12月から27年2月。前回からの変更点は、記名式とし、学生生活調査を含む項目として問3から問5を追加したこと、質問内容は①学生の属性、②本学の教育での修得度及び重要度、③授業形式毎の向学心、④授業への取組、⑤大学生活での心がけ、⑥学生サポートや学生サービスに対する満足度、⑦施設・設備に対する満足度、⑧大学生生活の満足度の8問で、回収率は全学で87.4%。結果としては、本学の教育の中で修得度が高い項目は、「目標とする先生や目標を持った仲間に出会え、切磋琢磨すること」、「幅広い視野や考え方を身につけること」。逆に低い項目は、「外国語能力を身につけること」、「専門分野の知識・技術や考え方を身につけること」等。また、本学の教育における重要度が高い項目は、「コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけること」、「幅広い視野や考え方を身につけること」、「自ら課題を見出し、分析し、解決方法を考える力を身につけること」、逆に低い項目は、「外国語能力を身につけること」、「専門分野の研究に触れること」、「社会や現実との関わりから学問の意義を学ぶこと」、また、授業形式において向学心が高い項目は、「少人数のゼミ・演習形式」。また、授業への取組において高い項目は、「履修登録した科目は最後まで履修する」、「宿題や課題はきちんとこなす」、逆に低い項目は「興味を持ったことを自主

的に勉強する」、「わからないことを自分で調べる」、また、大学生活の中での心がけで高い項目は、「始めたことは最後まで責任を持つ」、「アルバイトを通して社会性を身につける」、「自然なコミュニケーションがとれる」、逆に低い項目は、「自分の活動が社会とどのように繋がるかを考える」、「問題意識を持って生活する」、また、学生サポートや学生サービスに対する満足度において高い項目は、「図書館」、「就職支援」、逆に低い項目は、「学生食堂」、「国際交流への支援」、また、施設・設備に対する満足度については、「キャンパス全体の環境」、「講義室や実験室等の環境・設備」、「学内のスポーツ関連施設・設備」の3項目ともに概ね満足、大学生活の満足度については、「満足」及び「やや満足」とする回答の合計が93.4%となっており、「親戚や後輩等に本学を勧めるか」という問については、「勧めたい」、「本人の志望動機が本学に沿っていれば勧めたい」とする回答の合計が89.4%であった。」との報告があった。

④ 平成26年度（平成27年3月卒業者）の就職等決定状況について

事務局学生支援課から、資料7に基づき、「就職率は、平成27年3月31日現在の数値が93.4%であり、これは昨年3月31日の数値92.8%及び昨年5月1日現在の確定値93.0%を上回っている状況にある。平成26年度の最終的な確定値については、これより増加するものと思われる。」との報告があった。

4 その他

次回日程 平成27年度第2回 5月25日（月）午後1時～本部棟2階大会議室

5 閉会